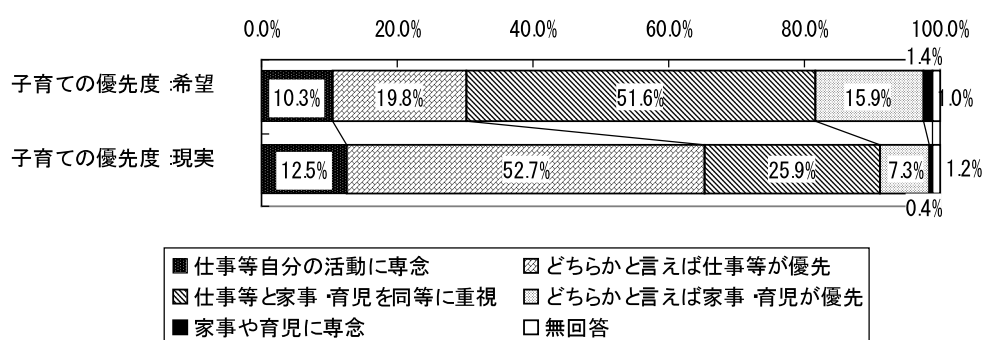


(5) 子育ての優先度

子育ての優先度を、仕事等との比較でみると、父親は、希望では「仕事等と家事育児を同等に重視」が51.6%、「どちらかといえば家事・育児が優先」が15.9%となっているが、現実には「どちらかといえば仕事等が優先」（52.7%）、「仕事等自分の活動に専念」（12.5%）が合わせて65.2%と、仕事重視の割合が高くなってしまっていることがわかる。

母親は、希望では、やや家事・育児寄りではあるものの、父親とほぼ同じ傾向を持っていることがわかる。特に「仕事等と家事育児を同等に重視」の希望が58.6%と多い。しかし、現実には「どちらかといえば家事・育児が優先」（43.4%）と「家事や育児に専念」（37.7%）が合わせて81.1%と、父親以上に、希望が現実に結びついていない傾向がみて取れる。

【父親 n=1,765】



【母親 n=1,765】

